



宮司づしス 第五十八号

彦島八幡宮 宮司 ニューズ

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十三年 三月 二日

◇宮司の柴田です。

先月の立春を過ぎてより、ようやく、寒さも和らぎ、春光次第に地に満ちて、日増しに暖かく感じられるようになりました。

◇三月は、「弥生(やよい)」です。

古来から「木草弥生(きくさいやよい)」
茂る月、つまり草木のいよいよ生い茂る月の意味で、つまって「やよい」となったという説が有力です。 またこの月は、「桃の節句(せつく)」、ひな人形を飾って女の子の成長と幸せを願う行事、「ひな祭り」が行われますよね。 実はひな祭りは、身の穢れを祓う行事でした。 三月に入って初めての巳(み)の日に川や海で禊(みそぎ)を行い、酒を酌交わして災厄(さいやく)を祓うという、古来中国で行われていた上巳(じょうし)の祓(ひ)が奈良時代に日本に伝わったものであります。 宮中では三月の巳の日に、天皇陛下の大御体(おおみま)、お体を人形で撫でて厄を移し、お祓いをする行事となり、平安時代には貴族の間にも広まりました。 この祓

(はら)いに使われた素朴な人形が、雛(ひな)人形の原形(げんけい)なのですな。

◇外清浄(げしじょう)と内清浄(ないしじょう)、一体なんのことでしょう。

神社神道は、現在の生き方、自分の生き様というものを重視します。 したがって、先月号にも記載しましたが、「死」という逃(のが)れる事の出来ない恐怖を意識し、世代交代、生命の連続を前提とした生き方を大切にしてきました。 しかし、情報が氾濫(はんらん)し、人の価値感が多様化すると、規範意識(きはんいしき)が低下してしまいます。

大自然の営みに感謝する素朴な気持ちや全ての事象や物事にも神の恵みがあるのだという、神性を認めるという崇高(すうこう)なる精神、さらには、他者を尊敬する謙虚な姿勢が失われてしまうのです。 まさしく、「心の浄化装置(じょうかそうち)」が正しく作動しなくなり、現在の生き方や生き様を省(かえり)みて、前向きな姿勢を忘れてしまっているのです。 鳥居(とりい)をくぐり、

手水(てみず)で、身をそそぎ、身体を清めて、神前に額(ぬか)づく、これが、「外清浄(げしじょう)」であります。 神前(しんぜん)に向かい、自分自身の生き方を見極め直し、心をまっさらに清める、これが「内清浄(ないしじょう)」です。 実

は、「身(しん)」は、現在を意味し、「身(み)」を清める、これが「外清浄」です。 そして、心の浄化装置が正しく作動されるよう、自分の心を見つめ直し、未来を意味する「新(しん)」、新しい自分を誓(ちか)う事が、「内清浄」なのです。 まさしく、神棚(かみだ)を拝し、御先祖様に額(ぬか)づくという、敬神崇祖(けいしんすうそ)の生活こそが、「外清浄、内清浄」であり、「心身(しんしん)」ともに清められ、新しい明日を切り開いていく力となるのではないのでしょうか。

◇明日が、ひな祭りですね。 私事で大変恐縮ですが、柴田家に婿入りという事で結婚式を挙げたのが、平成元年三月三日の事でした。 今年で結婚二十二年目になります。 しかも、私は、神職の正装である正服、衣冠を着け、妻は十二単衣(じゅうにひとえ)であり、まさに「ひな祭り」そのものであります。 私にとつての彦島八幡宮の出発点が、「桃の節句」で、しかも、明日は、「巳の日」で、「上巳の祓(ひ)」を行う日とも重なるのです。

室町時代の能楽者(のうがくしや)の世阿弥

(ぜあみ)は、「花鏡(はなかがみ)」で、「初心(しよしん)忘るべからず」という言葉を残し、能を学ぶ弟子への教えとしました。「是非(ぜひ)初心忘るべからず」「時々(ときどき)初心忘るべからず」「老後(ろうご)忘れず」

忘るべからず」と三か条が掲(かか)げられています。「是非」とは、若年(じやくねん)の頃、「時々」とは、修行の段階に応じたそれぞれの時期で、「老後」とは、老境(ろうきよ)に入つた時の事です。それぞれの段階において、初心を忘れなければ、生涯(しやうがいの)芸(げい)の水準(すいじゆん)が下がる事はないという教えです。心の浄化装置が正しく作動すると、「初心忘るべからず」という謙虚な姿勢を取り戻すことが出来るのではないのでしょうか。

二十二年前の頃の未熟さと、それゆえのひたむきさ、謙虚さである「初心」を忘れずに、常に、「外清浄、内清浄」を怠らず、健全なる神社運営に努力申し上げます。
今後とも何卒、よろしくお導きください。

◇二月の祭典行事報告

▼月次祭 *二月一日、十五日

▼節分祭 *二月三日

▼横浜ベイスターズファンの集いの会参拝

*二月五日

▼岡山県八幡会参拝 *二月九日

▼紀元祭 *二月十一日

▼西ロータリークラブRCC地区大会 *二月十三日

▼祈年祭

▼本宮 *二月十七日

▼六連島八幡宮 *二月二十五日

▼田の首八幡宮 *二月二十七日

▼朝粥会 *二月二十一日

※小豆(あずき)粥を頂きました

▼先々代宮司(十九代)命日祭*二月二十七日

上::節分祭 下::RCC地区大会



◇三月の行事予定

▼月次祭 *三月一日、十五日

▼福浦金刀比羅宮月次祭 *三月十日

▼南風泊恵比須神社例祭 *三月十五日

▼神道会第四十回祖霊祭

▼朝粥会 *三月二十一日

◇三月の宮司の行事会議等

▼当宮関係団体

◇維蘇志会勉強例会 *三月十五日

◇神道会第二十回定時総会 *三月二十一日

▼山口県神社庁、同下関支部関係

◇神社庁神宮大麻推進委員会*三月九日

◇下関支部皇居勤労奉仕結団式 *三月十三日

◇神社庁役員会、合祀祭 *三月二十三日

◇神社庁神職大会 *三月二十四日

◇下関支部研修会 *三月二十五日

◇下関支部施設慰問 *三月三十一日

◇カモンFMに生出演 *三月七日

▼西ロータリークラブ

◇例会 三月二日、二十三日、三十日

◇合同例会 三月七日、十八日

▼講演活動

◇西ライオンズクラブ例会講話

*三月四日

◇阿川八幡宮(豊北町) *三月六日

▼講演研修 *三月三十日、神社庁

▼教誨活動 ※美祢社会復帰促進センター

*三月十四日(集合男子)、二十八日(集合女子)

▼倫理法人会モーニングセミナー

◇東京第一ホテル、午前六時より一時間

*三月二日、九日、十六日、二十三日

▼その他

◇西山小学校評議員会 *三月四日

◇南高校PTA登校指導 *三月四日

◇迫町自治会役員会 *三月九日

◇玄洋中学校評議員会 *三月十八日